

会員9人・読者13人の仲間迎える 困っている業者を助け仲間を増やそう



「訪問すると民商への反応が温かい」「夏ははっぴに変わるものがほしいね」の声も

菅政権によるコロナ対策の無為無策、緊急事態宣言の再延長、広がる中小業者の困難。4・5月の商工新聞読者13人、会員9人拡大を確信に、8月の全商連創立70周年に向け、困っている業者を助け仲間を増やそう」の奮闘が続いています。

奈良民商ニュース

発行 奈良民主商工会
奈良市大森西町13-16
電話0742-33-7266
FAX 0742-34-5826
HP naraminsyo.jp

記帳会

6月の記帳会は、
下記の日程で開催
します。

【日 時】
6月16日(水)
13:30
【持ち物】
領収書・帳簿
筆記用具・電卓



絵手紙教室

絵手紙教室は、新型コロナウイルスの感染予防と、みなさんの健康を守るためにしばらくお休みします。

済美南支部がチラシ配布

「これからも続けよう」

済美南支部は5月29日、午後1時から宣伝統一行動にとりくみ、三輪昭三支部長、大工、川崎佳世副支部長、美容、美容から3人が参加しました。

3年ぶりのチラシ配布となった4月の支部統一行動で良い反応があったことを力に、2か月連続での開催となりました。先月は済美南支部地域の一番南側を配ったため、今回はその北側で行動。250枚を1時間弱で配り終えました。

三輪さんは「これから暑くなるけど、短時間でも、チラシ配



チラシを手にする川崎さん(左)

りを続けていこう」と話し、川崎さんは「また良い反応があればいいね。次はこの西側に配ろう」と勢いづいています。

インボイス廃止を

市長選たたい市政革新を

奈良民商は6月1日、6月度理事会を開催し、浜中達也会長、製菓、大安寺支部、嶋守秀利副会長、印刷関係から8人がしました。はじめに浜中会長が「10月から始まるインボイス登録。総選挙で政権を交代させ、インボイス制度を廃止しよう」と訴え。

霜鳥事務局長は、4・5月の一時支援金、時短協力金などの申請支援にとりくむ中、商工新聞読者13人、会員9人を迎えたことを報告。この間も飲食業者がチラシで入会した事例も紹介し、「打てば響く情勢」を強調。8月の全商連70周年に向け「いつの奮闘を」とよびかけました。また、7月に行われる奈良市長選挙では、中小業者を守る市政実現のため、明るい革新奈良市政をつくる会に結集し、候補者を擁立してたたかうことも確認しました。

県域水道一体化するな 奈良市に署名を提出

5月28日、奈良民商も参加する奈良市の水道問題を考える会」は市役所内で市当局に要請行動を行い、奈良市が県域水道一体化に参加しないことを求める請願署名、3次分1327人分を提出しました。

参加者の「なぜ市民の意見を聞かずに一体化を進めるのか」の疑問に、西谷忠雄副市長らは「統合ありきではない」など、不明確な回答に終始しました。



西谷副市長に署名を手渡す霜鳥事務局長